

石神中学校だより13号

発行日：令和2年 10月15日
2020重点目標〈自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司

〈3年生〉修学旅行に行ってきました！



富士緑の休暇村（昼食の様子）



森の探検ツアーコース

当初5月に予定されていた修学旅行ですが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止に伴い、10月に延期され、このたび無事に修学旅行を行うことが出来ました。この間、旅行先変更に伴う見学場所や宿泊のホテル選定、衛生管理と準備など想定出来ない状況でもありましたが、3学年及び旅行業者等の綿密な打合せの上、実施することができました。保護者の皆様方には、何かとご心配をおかけしましたこと、申し訳ございませんでした。台風14号の影響を受け、あいにくの雨模様でしたが、生徒らの明るい表情と礼儀正しい行動が見られた三日間になりました。何より、誰一人体調を崩す生徒が見られなかったことが一番でした。

修学旅行出発に際し、これまでの準備と子どもの健康管理に努められた保護者の皆様に感謝するとともに、今後の学校生活についてもご協力とご理解をお願いいたします。

〈令和2年度修学旅行行程〉 山梨県富士河口湖町・富士吉田市周辺

- 10月7日（水） 富士緑の休暇村（昼食）～河口湖周辺選択コース（山のツアー、フィッシング体験、音楽と森の美術館、カヌー体験） 宿泊：河口湖プチペンション村
- 10月8日（木） リニア見学センター～富士急ハイランド 宿泊：富士ビューホテル
- 10月9日（金） 富士山世界遺産センター～富士スバルライン～富士山五合目



一日目宿泊 ペンション「モーニングサラダ」



リニア見学センター内



2日目宿泊 富士ビューホテル内



富士山世界遺産センター内



富士山世界遺産センター内



富士山五合目（昼食：ほうとう鍋）

～ねがい～ 「指導の失敗事例より（修学旅行編）」

校長より

今から、約20年前、ある特別支援学校高等部3年の生徒を引率して、大阪方面に修学旅行に行った時の話しです。宿泊したのが、大阪駅前にある超豪華ホテル「ウェスティンホテル大阪」でした。安い時期と重なり、偶然に宿泊できたのです。さて、生徒らと夕食を済ませ、各部屋に入り、生徒らに翌日の準備や荷物のまとめの指導を行いつつ、入浴するように指示をしました。男子生徒が浴室に向かったのはいいのですが、いつになっても出てきません。同室の友人に見に行くように伝えると、友人は、「〇〇君は、パンツ一つで立っています！」と言います。確認すると、その生徒は「使い方がわかりません」と答えました。つまり、普段自宅で使っている風呂とホテルの浴室（バスタブセット型）は、構造が根本的に違うため、使い方に悩み、どうして良いか困った状態でした。浴槽の中で身体を洗い、シャワーで洗い流す、そしてお湯をためる等の一連の行動は、実際に行わないと分からないものです。これは、指導者である私のミスでした。この場では、生徒を集めて湯の出し方や浴槽カーテンの仕方などの説明をして何とか乗り越えました。生徒らは、修学旅行を含め、将来の就職先での社員旅行や出張など、常に大浴場のあるホテルに泊まるとは限りません。ユニットバスのあるホテルにも対応できるようにするため、翌年度から、教育計画にビジネスホテルを使っての入浴の仕方を学ぶ学習（生活単元学習）を計画しました。しかし、ホテルの従業員から、その場で使い方を説明されても、なかなか理解するのは難しいものです。特に湯の温度かげん調整は、ホテルの設備や機能的な違いがあり、指導に悩んだことを思い出します。熱いお湯により、やけどをする心配もあるため、より慎重な指導も必要になるわけです。この指導の失敗から、次の一手、二手先等を読める指導の大切さを知りました。

